

明石市立谷八木小学校の実践

1 テーマ

ふるさと谷八木を愛し 主体性を発揮できる子どもの育成
～谷八木太鼓から学ぶこと～

2 活動のねらい

- ・ 伝統行事や文化のよさを知り、ふるさと谷八木の文化を受け継ごうとする態度を育てる。
- ・ 総合に位置づけ、主体的に「見つける力」「高め合う力」「共に生きる力」を育む。

3 効果的に実施するための体制整備について

○谷八木太鼓実行委員会

→6年生担任と音楽専科を中心に構成し次年度への引き継ぎの時期は、5年生担任も加わる。

○和太鼓演奏の鑑賞

地域で活動されている和太鼓団体

→八姫太鼓（大人の和太鼓団体）、わかば太鼓（子ども太鼓）

4 地域人材との効果的な連携について

【講師・協力者】和太鼓・篠笛奏者 高野 匠

地域の和太鼓チーム 八姫太鼓・わかば太鼓（約12名）

【依頼方法】「文化芸術による子供育成総合事業～芸術家の派遣事業～」
（文化庁）を活用

【依頼回数】計2～3回

【連携の工夫】谷八木太鼓実行委員会を設置し、講師との意見交流の場を設定

【留意事項】適宜学校の活動状況を報告しながら講師との連絡調整する。

5 各教科等における指導方法の工夫について

6年生の総合的な学習の時間を中心にカリキュラムを作成し実施

テーマ「私の生き方」

【目標】 学習を通して人とのつながりを感じ、今やこれからの自分の生き方を考えることができる。

谷八木太鼓

20代目テーマ「響かせろ！ 輝いた絆と 全力の 谷八木魂」※テーマは毎年度設定

見つける力	谷八木太鼓の伝統を知り、20代目である自分たちの和太鼓に意欲と自覚をもち、テーマを考えることができる。
考える力	より良い表現のために、リズムや打ち方を自分なりに工夫することができる。和太鼓を打つために、生活面・安全面において必要なことを考え、実行していくことができる。
表現し 高め合う力	リズムや打ち方を工夫したり、友だちの音と動きを調整したりして、思いを太鼓で表現することができる。向上心をもち、友だちとアドバイスし合って練習することができる。
共に生きる力	友だちと頑張り認め合い自分に自信をもつと共に、支えてくれた先生や家族・地域の人々に感謝することができる。和太鼓練習を通して学んだことを自己の生活改善・向上につなげ、伝統や支え合いを引き継ぐことができる。

自分たちのテーマを決めよう

関連教科（道徳《郷土愛や愛校心を持とう》）
・ 未来に残そう私たちの浄土寺・ 応援団の旗

☆地域の方々や先輩達の谷八木太鼓に対する思いを知り、伝統を引き継いでいこうとする気持ちをもつ。

☆合意しながらテーマとパートを決め、合意形成を図りながら話し合い心を合わせて自分たちの太鼓を作り上げようとする意欲をもつ。

（内容）

- 前年度の6年生から引き継いだリズムや、先生から教わったリズムを打つ。
- 谷八木太鼓の歴史を知る。
- 自分たちの太鼓のテーマとパートを決める。

太鼓を通して深め高め合おう

関連教科（音楽《日本の伝統音楽に親しもう》）
・ 和太鼓の基本や篠笛の奏法を知ろう ・ 春の海 ・ 越天楽今様

☆地域の歴史や生活と関連づけて、テーマの表現の仕方について深く考えることができる。

☆太鼓を打つ楽しさや喜びを分かち合い、教え合ったり競い合ったりすることで、技術も心も高め、お互いに成長を認め合うことができる。

☆人の歴史や生活の中から命について深く考えることができる。

- テーマをもとに、太鼓をどのように表現するかを考える。
- 太鼓の打ち方やリズム・心構えなど、目標をもって練習する。

響かせよう！谷八木太鼓

関連教科（国語《卒業にあたって生き方を考えよう》）
・海の命 ・今、君たちに伝えたいこと ・生きる

- ☆心を合わせて発表（表現）する喜びを味わうことができる。
- ☆伝統を受け継ぎ、谷八木太鼓に対する心構えやリズムを意識して演奏することができる。
- ☆自分の成長を感じるとともに、支えてくれた人々に感謝することができる。
- ☆伝統を引き継ごうという気持ちで、心構えやリズムを5年生に教えることができる。

6 活動の内容

高野 匠先生によるご指導



高野 匠先生による指導



人権・道徳教育研究発表会

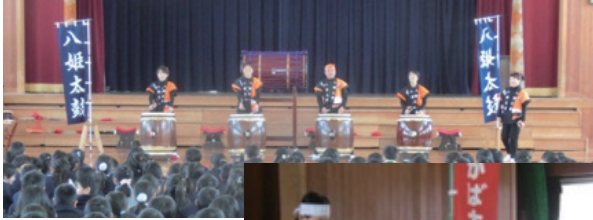


6年生から5年生への引き継ぎ会



地域との連携

八姫太鼓の演奏



「いじめ撲滅キャンペーン」に出演



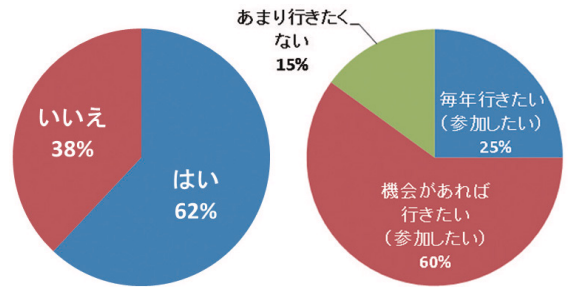
わかば太鼓の演奏



地域の秋祭り



地域行事についてのアンケート（6年児童）



地域行事に行ったり、参加したりしたことがありますか？

地域の秋祭りに対する気持ちは？

7 成果と課題

地域から寄贈された谷八木太鼓を代々受け継いでいくことで、地域と連携した学校の文化として位置づけ、誇りをもって取り組むことができている。アンケートの結果からも現在20代目となる「谷八木太鼓」がこれからも続いてほしいと願う児童は多く、また、それを地域へ向けて発信したいと考えている。

教育課程が変わり、総合的な学習の時間の中で取り組むことが難しい現状があり、「谷八木太鼓」を各学年の中に盛り込み系統的に指導していく必要もあると考えている。

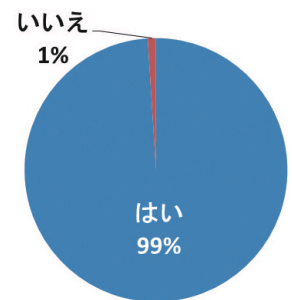
児童の感想より

《これからも谷八木太鼓が続いてほしい理由》

- ・他のどんな人にも真似できないすてきなものになってほしいし、そうなるように練習しているから。
- ・ここまでつないできてくれた先輩の方々や地域の方々のためにも、これから何代も、もっと先まで続いてほしいから。
- ・地域の人たちのお金で谷八木太鼓ができていますので、地域の人に感謝しないとイケないから。

《谷八木太鼓を通じて、成長したこと》

- ・伝統文化を大切にしたいという思いや責任感がつよくなり、前より集中力がついた。
- ・発表など今までより大きな声で発表できるようになり、表現力も豊かになった。



谷八木太鼓がこれからも続いてほしいですか？